



学校だより



令和6年 5月31日
6月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

“行儀よくしなさい”

校長 樋川 宣登志

先日、セルフサービスのフードコートで、母親と小学校高学年くらいの女の子の二人連れを見かけました。帰り際に母親がトレーを持って立ち上がると、女の子が紙ナプキンでテーブルの上をサッと拭いて席を離れていきました。その自然なふるまいを見て、よい所作が身に付いているなあ、よい躰(しつけ)だなあと感じました。

自分の子どものころを思い出すと、箸の上げ下ろしにうるさかった母から「行儀よくしなさい」とよく言われました。この言葉、最近あまり耳にしなくなった気がします。今の自分を考えると、「子どものころの方が行儀よかったのでは？」とも思います。

日本人は、世界の中でも礼儀正しい国民と言われてきました。古くは中世に来日した宣教師や、江戸時代に来朝した西洋人の記録にも、そのような記述が残されています。

今の私たちはどうでしょう？

「躰」「行儀」「礼儀」と言うと堅苦しい気もしますが、周りの人への気遣いや相手への敬意が「かたち」になったものと思えば、清々しい立ち居ふるまいです。

学校でも、食事や公共の場での行儀作法・マナーについては学習します。

給食では食事のマナーを指導しています。けれど、給食は年に200回程度。食事の作法については、ご家庭での声かけが重要です。

電車に乗って校外へ出かけることは年に1~2回あるかどうかで、これもマナーを身に付けるのに十分な回数ではありません。ホームでの待ち方、電車に乗る順序、車中での過ごし方、座席の座り方、荷物の始末の仕方や気遣い等々…。これらは、箇条書きにして暗記させることではありません。少しずつ少しずつ身に付け、自然に振る舞えるようにしていくことです。

車中では、行儀よく座って静かに本を読んでいる小さな子もいます。周りのことを気にせず大きな声で話したり、荷物を座席に置いたりする大人もいます。「大きくなれば身に付く」ことでもないようです。

古くさい言葉ですが、私たち大人は子どもたちに「行儀よくしなさい」ともつと言わなければいけないかもしれません。

静かな梅雨どきが近づいてきました。室内で本を読んだり、家族で食事や話をしたりするのによい季節かと思います。

子どもたちに、気遣いや美しい所作を伝える機会にできるとよいです。

6月の生活目標 身の回りの清潔に努めよう

手洗いをしっかりして、身体の清潔を心掛けてほしいと思います。また、雨の日の教室での過ごし方を考えさせ、保健、安全に関する意識を高められるよう、指導していきます。